

令和6年度

第2期湯前町総合戦略検証結果報告書

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧について

- 今年度より総合計画、総合戦略の検証業務をスムーズに行えるよう、システム（湯前町自治体経営システム Cross Town）を導入。

この自治体経営システム（Cross Town）は、各種計画の管理から評価、AIによる支援機能などがあり、行政の適正な運営補助をサポート。

- 前年度と異なる箇所については、前年度の検証では、進捗率を出した後、A～D判定で評価を行ったが、今年度はシステムを導入したため事業の進捗率での評価を行った。

補足：令和5年度は単年及び累計の実績値から算出した進捗率について、AからDの判定を行った。判定については、Aが76～100%、Bが51～75%、Cが26～50%、Dが0～25%の達成率。

第2期湯前町総合戦略 検証結果一覧

基本目標1 力強い産業としごと創生

数値目標

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
認定農業者数	50人	57人	57人	51人	51人	48人	50人	96%	農林振興課
検証および今後の方針	認定農業者数については、令和4年度から横ばいで推移していたが、高齢化等により令和6年度末時点では減少した。人口も減少しているため、認定農業者数についても今後の減少は避けられないと考えるが、引き続き農業の担い手を確保するため、認定農業者数の維持に努める。								
備考	積算根拠：認定農業者名簿 第3期では数値目標を「基本構想における基準所得を達成した農業者数」へ変更								
委員からのご意見	認定農業者数等難しい言葉を使うときは、説明において簡単な資料があった方がわかりやすい。								
事業所への就業者数	976人	-	1,099人	-	-	-	1,000人	0%	企画観光課
検証および今後の方針	就業を考えている町民向けの無料相談会（ジョブカフェ、若者サポートステーション）の実施や、窓口への求人情報誌の設置など就業希望者への支援を行った。引き続き商工会等関係機関とも連携して就業者の確保にも努めたい。就業者数については令和8年度に実施する経済センサスにて反映を行う。								
備考	就業者数については令和8年度に実施する経済センサスにて反映する。 経済センサス - 活動調査・・・全産業分野の経済活動を同一時点で把握するため、日本国内に所在する全ての事業所・企業を対象として、5年ごとに実施。調査から得られる日本の経済活動の実態は、国や地方公共団体において地方消費税の清算や各種行政政策の立案など利用されているほか、民間企業における経営計画の基礎資料として広く活用される。 第3期では数値目標を「商工業者事業者数」へ変更								

施策1 地域産業力の向上のための支援（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
認定農業者数	50人	57人	57人	51人	51人	48人	50人	96%	農林振興課
検証および今後の方針	認定農業者数については、令和4年度から横ばいで推移していたが、令和6年度は高齢化等の影響により、目標値を達成できなかった。今後も農業の担い手として確保するよう努めたい。								
備考	認定農業者名簿								

施策1 地域産業力の向上のための支援（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
林業素材生産量	98,000㎡	91,650㎡	86,143㎡	66,042㎡	72,324㎡	63,455㎡	100,000㎡	63%	農林振興課
検証および今後の方針	林業従事者の高齢化に伴う労働力不足や、近年の豪雨災害等による林道・作業道の復旧が進まず、搬出できる区域が限定され目標値を下回った対前年比でも87.7%となった。林道・作業道復旧工事や町有林の計画的伐採を推し進めるなど、安定的な事業の発注と林業担い手支援事業等を行い林業事業者への事業確保を支援する。								
備考	上球磨森林組合および湯前木材事業協同組合総会資料（令和6年度事業報告）より第3期ではKPIを「林業従事者数」へ変更								
先端設備導入計画認定件数	0件（累計）	1件（累計）	3件（累計）	5件（累計）	5件（累計）	5件（累計）	7件（累計）	71%	企画観光課
検証および今後の方針	令和5年4月の新制度改正に伴い、事業所からの問い合わせも減少しているが、引き続き商工会等との関係機関との連携を図りながら、町内事業者へ制度周知を行っていく。								
備考	目標値は当初5件（累計）であったが、R5年度に7件（累計）に上方修正								
小規模事業者持続化補助金採択件数	1件（累計）	1件（累計）	7件（累計）	7件（累計）	9件（累計）	9件（累計）	23件（累計）	39%	企画観光課
検証および今後の方針	全国商工会連合会が実施する小規模事業者持続化補助金の採択がなかったため実績なしとなった。引き続き補助対象者に対し漏れなく補助金を交付するために、商工会と連携して制度の周知を行っていく。								
備考									
新規就農者数	0人（累計）	2人（累計）	5人（累計）	8人（累計）	8人（累計）	8人（累計）	10人（累計）	80%	農林振興課
検証および今後の方針	令和2年度～4年度については親元就農を中心に新規就農者が増えたが、令和5、6年度については親元就農者等がおらず0人となった。今後も、国・県・町の支援内容等の周知を図りながら、新規就農者の確保に努めたい。								
備考	農林振興課／積算根拠：新規就農者名簿 目標値は当初5人（累計）であったが、R3年度に9人、R4年度に10人（累計）に上方修正								

施策1 地域産業力の向上のための支援（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
商工業事業承継者数	0人（累計）	1人（累計）	3人（累計）	4人（累計）	6人（累計）	7人（累計）	8人（累計）	88%	企画観光課
検証および今後の方針	親族内承継が1件となった。今後も湯前町商工会や事業承継引継ぎ支援センター等の関係機関と連携して、少しでも廃業する事業者を減らすためのサポートに努めたい。また、事業承継支援について広域での連携協定も締結したため、他市町村や支援機関と連携した支援を実施していく。								
備考									

施策2 安定した雇用の創出のための支援（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
創業者数（農林商工業）	1人（累計）	0人（累計）	1人（累計）	1人（累計）	2人（累計）	3人（累計）	5人（累計）	60%	企画観光課
検証および今後の方針	商工業：企業誘致による町内での創業で1件の実績となった。引き続き商工会と連携してワンストップ窓口で支援に努めたい。また、創業支援等事業計画に定める創業支援事業についても活用いただけるように周知していく。								
備考	担当課：企画観光課、農林振興課 / 内訳：農業 0人、商工業 3人								
若者雇用促進事業の交付件数	-	-	-	-	-	-	20件（累計）	0%	企画観光課
検証および今後の方針	他事業に注力したことにより、事業に取り組むことができなかった。今後、事業の検討を行っていく。								
備考	第3期ではKPIを需要が高まる「サテライトオフィス及びコワーキングスペース利用者数」及び「企業誘致数」へ変更								

【評価】

基本目標1について

令和6年度に大きな変化はなかったよう見受けられる。また仕事としては、基幹産業である一次産業（農林商工業）を伸ばすことが非常に重要である。

検証の仕方については、今年度（令和7年度）に計画検証システムを導入し、検証方法を模索中であるとのことだが、推計した数値との比較だけでも良いのではないかと。

AI等も進化しているので、検証等に活用を検討してみたい。

湯前町だけでなく、類似市町村といった他との比較（客観性）があると目標値や進捗率などが比較できて良いと思う。

第2期湯前町総合戦略 検証結果一覧

基本目標2 誇れる・選ばれるまち創生

数値目標

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
社会増減数	-11人	14人	30人	-31人	-11人	-10人	31人	0%	企画観光課
検証および今後の方針	社会増減数は転入の減少と転出の増加が重なり、令和4年度から引き続き減少傾向であるが、住宅・空き家リフォーム等補助金や新築応援事業、過疎地域集落再編整備事業といった住宅施策等を中心に広く町民に周知し定住に繋がる住宅関連のサポートを行っていく。加えて、転出抑制や転入増加に効果がある施策（子育て関連）を推進していく。								
備考	社会増減数：R6年度の転入者数から転出者数を差し引いたもの（町民課算出）								
委員からのご意見	目標値の定め方について。R3年度では30人と増えているが、R4年度は-31人と減っており上下の変動が大きく、目標値の設定は難しいと思われるが、進捗率が0%というのは数値目標としてはどうか。目標値を高く設定するのは町の姿勢としては良いことであり、人口減少については全国で抱えている問題であるが、こういった町づくりを目指しているのかというのを町民の方に伝えるためにも、目標値の設定の仕方や説明が重要であると考えます。								
湯前町に住みたい割合（アンケート結果）	55.5%	56.0%	-	-	49.5%	59.2%	60.0%	99%	企画観光課
検証および今後の方針	令和6年度に実施した「湯前町まちづくりに関する町民意識調査」では、湯前町に住みたい割合が59.2%と令和5年度の49.5%に比べて高く、また令和5年度に30代～40代の住みたい割合が30%前後と低かったのに対し、令和6年度は50%前後と高くなった。住みたい理由としては「安心して暮らすことができる」が16.8%と最も高く、次いで「自然が豊か」「故郷に愛着がある」との結果となった。町外に移り住みたいと答えた人の理由は「交通の利便性や買い物の不便さ、仕事（働く所がない）」などが多く、令和5年度と同様の結果であった。また分からないと答えた割合が28.1%と高かったため、アンケート様式についてに回答しやすい設問や選択にするなど工夫し、若い世代向けにweb回答を積極的に取り入れて、幅広い世代から正確に意見が拾えるように改善を行うとともに、住みたい町にするための各施策を推進していく。								
備考	積算根拠：令和6年度に実施した「湯前町まちづくりに関する町民意識調査」より								
委員からのご意見	目標値をもっと高くするべき。住民アンケートで高い結果が出れば、湯前町に住みたいと思う人も増えるのではないかと。								

施策1 魅力づくりと発信（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
観光入込客数	206,880人	90,840人	110,406人	120,300人	122,589人	149,169人	220,000人	68%	企画観光課
検証および今後の方針	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い増加傾向にあるが、目標値からは大幅に下回ることとなった。要因としては、実績値を観光統計を基に算定しているが、基準値の時点とは観光統計の算定方法が変更しており、算定に算入する施設数が減ったことが大きな要因としてあるが、まだ各施設もコロナ以前の数値にまでは回復していない。キャンプの需要増加に伴いグリーンパレスが増加傾向にあるため、湯楽里への接続や文化財や再開発が完了する駅周辺施設への周遊を促していきたい。 また、情報発信を民間に委託することにより、より効果的な誘客をおこなっていく。								
備考									
宿泊者数	7,849人	3,813人	5,167人	7,307人	7,178人	6,970人	8,567人	81%	企画観光課
検証および今後の方針	令和5年度より200人程度減少となり目標値も下回った。 本町唯一の宿泊施設である、湯楽里の宿泊者の減少が要因となっており、平日の宿泊者数を増やすために、新たなプランの開発やサービスの向上などを促進していく。 また、予約システムの導入により、一元的に予約の管理をすることにより宿泊者の取りこぼしを無くしていく。								
備考									
委員からのご意見	キャンプ場の宿泊者数は入らないのか。宿泊の仕方（キャンプやRVパークなど）が色々ある中で、どうかカウントができるようにしてほしい。								
関係人口数	1,740人	2,370人	2,124人	2,093人	6,151人	10,031人	7,000人	143%	企画観光課
検証および今後の方針	令和5年度に続き、人流や消費行動が戻ってきたことやふるさと納税に関する施策の効果が出てきたことにより、主にふるさと納税に係る関係人口が飛躍的に伸びた。またMANGA資源を活用した関係人口創出事業では新たにキッズコスプレ貸出事業を追加し、町内外の各地域から家族連れで参加され、MANGAというコンテンツの人気度及び認知度が高いことが伺える。協働の森づくり活動は安定して参加人数に大きな増減はなく、新たに整備中のサテライトオフィス建設に伴うワーケーション事業も前年度と参加者数の大きな増減はなかったが、施設完成後はより人数が増える見込みである。その他事業についても認知度が高まっており、今後も継続して多方面から事業を展開し、関係人口増加に努める。								
備考	関係課：企画観光課・農林振興課・教育課 関係人口数積算に係る事業について：協働の森づくり事業（農林）、大学との連携事業・ふるさと納税寄附者数・ふるさと会・ワーケーション事業参加者数（企画）、MANGA資源を活用した関係人口創出事業（教育） 目標値は当初2,201人であったが、R5年度に7,000人に上方修正								

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
ホームページ閲覧者数	196,800PV	1,119,501PV	1,602,120PV	2,254,420PV	2,458,265PV	4,703,550PV	2,800,000PV	168%	総務課
検証および今後の方針	情報発信部署の記事登録数が以前より増えて、より多くの人目に触れる結果となった。イベント告知や入札情報などの更新、LINEと連携したスマートフォンからのリンクなど、あらゆる方向から数値を上げる効果が出たと考えられる。引き続き記事の更新やタイムリーな話題の提供に努めていきたい。								
備考	目標値は当初290,000PVであったが、2,800,000PVへ上方修正								

施策1 魅力づくりと発信（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
SNS登録者数	-	223ユーザー	540ユーザー	737ユーザー	10,687ユーザー	10,907ユーザー	11,000ユーザー	99%	総務課
検証および今後の方針	令和4年度までは町のLINE登録者数の実績値であったが、SNSの普及に伴い各種団体（B&G、まんが美術館、観光物産協会、協力隊等）でもinstagramやホームページ等のSNSを運営しており、令和5年度からは各種団体を含めたSNS登録者数を実績値とし、併せて目標値も変更した。昨年度より220名の増となり目標値まで100名を切った。引き続き登録者数が伸びるよう情報発信に努めたい。								
備考	目標値は当初1,300ユーザーであったが、R5年度に11,000ユーザーに上方修正								
若者会議による施策や事業の提案数	-	0件（累計）	0件（累計）	1件（累計）	1件（累計）	1件（累計）	5件（累計）	20%	企画観光課
検証および今後の方針	令和4年度に1件提案することができたが、運用について参加者からも意見をもらい、新たな運用方法を検討したが、参加者の負担軽減と内容の充実を両立させる運用方法の確立ができず、目標達成に至らなかった。参加者の参加できる日数が限られる中、令和5.6年度は講演会や意見交換会の開催を年1回行うことができたため、引き続きこのようなまちづくりの参画意識を高める取り組みを継続していく。								
備考									
委員からのご意見	若い世代のエネルギーと発想をどう活かすのかが大事。若い人の意見を積極的に取り入れるために頑張るべき事業ではないかと思われる。また若者会議の開催頻度については、回数や希望により提案内容や意見も変わってくると思われるので、目標値の設定を明確にしていきたい。								

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
まんがの町としての充実度	-	-	-	60.0%	46.0%	82.8%	80.0%	104%	企画観光課
検証および今後の方針	令和6年度も、4~5年度に引き続き地域おこし協力隊2名を中心に企画展開催、ワークショップ、学習マンガイラストコンテスト、まんが教室等さまざまなイベントを実施した。また、美術館の改修工事に伴う長期休館（6月1日～10月31日 5か月間）のため、「出前まんが美術館」事業や館外におけるワークショップ開催等に力を入れた。また、アニメ「夏目友人帳」15周年記念展の開催により、5か月間の休館期間を挟みながらも入館者数は5年度（2,802名）から大幅に増加した。また、まんが美術館の関係人口といえる館外出張展示「出前まんが美術館」事業の入館者数も5,107人と過去最高を記録した。実績値は、令和4年度は入館者アンケート、令和5年度は町民アンケートによるものであるが、より定量的・実測的な評価を目的として、令和6年度の値は「今年度の入館者数÷目標年間入館者数1万人」で算出した。今後も、館内外企画展示の内容を充実させるなどして、入館者数・関係人口のさらなる増加を図りたい。								
備考	担当課：企画観光課・教育課 令和6年度は町民アンケートの回答より								
入館者数（まんが美術館・図書館）	12,169人	2,014人	1,487人	4,614人	5,113人	9,615人	13,210人	73%	企画観光課
検証および今後の方針	まんが美術館事業を専門とする地域おこし協力隊2名と、学芸員1名を中心に、人吉球磨地域をモデル地とするアニメ「夏目友人帳」展の開催や、館外出張展示「出前まんが美術館」事業など、県内外施設・団体等との連携を強化したため、来館者数が昨年を大きく上回った。今後も、人吉球磨地域を訪れるマンガ・アニメファンの取り込みや、那須良輔資料を軸とした全国共同巡回展等で、事業拡大を図る。 まんが図書館については、イベントなどを実施し集客を行ったが年間で627人の減少となった。令和7年1月から5月までレールウイング改修工事のため閉館していたこともあるが、夏目企画との連動や情報発信の強化などでの更なる集客も見込めたため、令和7年度回収が完了するレールウイングを活用しながら、まんが美術館の企画と連動した集客などを促していきたい。								
備考	担当課：企画観光課・教育課 R6 まんが美術館：7,931人 まんが図書館：1,684人								

施策2 移住・定住の促進（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
転入者数（住民基本台帳）	111人	108人	121人	75人	87人	99人	148人	67%	企画観光課
検証および今後の方針	地域おこし協力隊や結婚新生活支援事業及び移住支援金等の施策を介しての転入もあったが、令和5年度と比較して大きな増減はなかった。令和6年度はお試し住宅の利用や問い合わせ、空き家バンクへの申込等、移住施策に対する動きが見えたこともあり、今後も継続して情報発信を行い、転入者数の増加に繋げたい。								
備考	積算根拠：住民基本台帳より算出（町民課）								

施策3 安全・安心で快適な住みよいまちづくり（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
防災リーダー育成（防災士の人数）	4人（累計）	3人（累計）	0人（累計）	5人（累計）	11人（累計）	16人（累計）	14人（累計）	114%	総務課
検証および今後の方針	新型コロナウイルス感染症対策として実施されなかった令和3年度を除き、「火の国ぼうさい塾」に令和4年度から6年度まで、各地区自主防災組織に協力いただき、令和6年度末で16名の防災士を育成することができた。令和4年度から各地区自主防災組織の防災意識を向上させるため、熊本県自主防災組織活動支援員による防災講話や地区防災計画の作成に取り組んでおり、火の国ぼうさい塾の受講協力が得られてのもこれらの取り組みが功を奏したとみている。最終的には、各地区自主防災組織に1名以上の防災士を配置することを目標としており、引き続き各地区自主防災組織の協力を得ながら地域防災力の向上に努める。								
備考									
健康寿命（男性）	67.5歳	67歳	75.8歳	77.3歳	76.4歳	78.5歳	78歳	101%	保健福祉課
検証および今後の方針	男性は国や県と比較すると平均自立期間が短く、平均余命も短く推移していたが、令和6年度は平均自立期間の延伸が見られ、目標値を達成している。湯前町健康増進計画に基づき、乳幼児期からの虫歯予防、食育、身体活動、睡眠等の健康的な生活習慣、疾病予防と早期発見のための啓発・保健指導を行っている。今後も取り組みを継続していく。								
備考	本町の健康寿命は令和3年度から要介護2以上を健康ではない状態とする「日常生活動作が自立している期間の平均（平均自立期間）」を参考に検証している。目標値は当初70.4歳であったが、R5年度に78.0歳に修正								

施策3 安全・安心で快適な住みよいまちづくり（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
健康寿命（女性）	74歳	72.4歳	84.8歳	85.6歳	85.1歳	85.6歳	86歳	99.5%	保健福祉課
検証および今後の方針	女性の平均余命と平均自立期間は、国や県と同水準に推移している。湯前町健康増進計画に基づき、乳幼児期からの虫歯予防、食育、身体活動、睡眠等の健康的な生活習慣、疾病予防と早期発見のための啓発・保健指導を行っている。今後も取り組みを継続していく。								
備考	本町の健康寿命は令和3年度から要介護2以上を健康ではない状態とする「日常生活動作が自立している期間の平均（平均自立期間）」を参考に検証している。 目標値は当初75.0歳であったが、R5年度に86.0歳に修正								
地域コミュニティ活動参加者数	6,377人	2,420人	5,401人	5,047人	4,958人	5,469人	8,800人	62%	教育課
検証および今後の方針	湯前町B&G海洋センターロビー及びトレーニングルームは地域コミュニティ形成の場所としてどなたでも活用いただけるが、利用者の多くは定期開催の介護予防活動への参加者である。湯前町B&G海洋センターはスポーツを行う場所であるとの認識が高く、それ以外の交流の場として活用いただけていないことから、次年度は広報紙やSNSを活用した施設の紹介、他課との連携事業などにより地域コミュニティの活性化を図っていく。								
備考	積算根拠：令和6年度の利用実績に基づく ※トレーニングルーム 2,009人、ロビー 3,460人、合計 5,469人								
町営住宅建設戸数	166戸（累計） （単身向け6戸）	166戸（累計） （単身向け6戸）	164戸（累計） （単身向け6戸）	159戸（累計） （単身向け6戸）	160戸（累計） （単身向け6戸）	160戸（累計） （単身向け6戸）	172戸（累計） （単身向け6戸）	93%	建設水道課
検証および今後の方針	令和6年度は老朽化し危険性のある上牧原住宅2戸を解体し、新たに駅前団地2戸の建設が完了したため、令和5年度と比較し増減なしとなった。引き続き令和7年度以降も駅前団地1戸と町有地への単身向け住宅の建設を進めていく予定である。								
備考									

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
個人住宅建設戸数	6戸	5戸	7戸	10戸	7戸	5戸	10戸	50%	企画観光課
検証および今後の方針	新築住宅取得補助事業を通じた補助事業を行ったが、近年の木材価格高騰の影響もあり、目標値を下回った。しかし、相談件数は年々増えてきており、令和7年度以降も補助金の活用をしたいと考える方も増えているため、引き続き住宅施策の継続および拡充に努める。								
備考									
委員からのご意見	木材価格の高騰はすでに落ち着いたため、建築資材全体に文言を変更してほしい。 建築資材（サッシや金物）もだが全体の単価、賃金も上がってきている。								

【評価】

基本目標2について

概ね目標値を達成している。

まんがのまちづくりにも力を入れており、まんが文化自体がアイデンティティとして広がり認知度もあるが、費用対効果として経済効果が測れるとよい。

数値目標の「湯前町に住み続けたい割合」については、そもそも目標値（60%）が低いのではないかと。

この結果を外部から見た時に、果たして住みたいと思うのかを考えてほしい。

いずれにしても、社会増減数自体は長期的な見込みの中でたてるべきで、目標自体を長期的に設定したという根拠があった方がよい。

第2期湯前町総合戦略 検証結果一覧

基本目標3 未来を担う若い世代の希望創生

数値目標

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
年少人口率	11.4%	10.4%	10.8%	9.8%	9.9%	9.7%	11.5%	84%	企画観光課
検証および今後の方針	社人研の将来推計で本町の年少人口は緩やかに下降しているが、同様に令和2年度から令和6年度をみても減少傾向にある。引き続き出生数の増加を推進するだけでなく、新築応援事業等の住宅施策や結婚支援金、子育てに係る補助金（出生祝い金等）といった、子育て世代の転入を促すような施策の周知を行って、年少人口率の減少を食い止めたい。								
備考	年少人口率はR6年度の年少人口（333人）を総人口（3,401人）で割ったもの（町民課算出） 年少人口（0～14歳）：333人 総人口：3,401人（ $333 \div 3,401 = 9.7\%$ ）								

施策1 子どもを安心して生み育てられる環境の整備（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
出会いの場への参加者数	2人（累計）	-	-	4人（累計）	9人（累計）	17人（累計）	50人（累計）	34%	企画観光課
検証および今後の方針	令和6年度は、球磨郡の9町村で構成される「球磨郡結婚対策推進協議会」で球磨郡在住者を対象とした婚活イベントを開催し、男性18名・女性13名の計31名が参加した。湯前町からは男性7名・女性1名の計8名が参加し、うち4名が成立。少子化対策は国をあげての急務であり、少子化対策の前にまずは男女の出会いの場が必要であることから、協議会で管内市町村の独身者への結婚支援として、出会いの場を創出するためのイベントやセミナーを引き続き行っていき、成果につなげたい。								
備考	内訳：男性16名、女性1名 計17名								

施策1 子どもを安心して生み育てられる環境の整備（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
子育て世帯数	250世帯	214世帯	237世帯	224世帯	219世帯	217世帯	250世帯	87%	保健福祉課
検証および今後の方針	世帯数、子ども数ともに令和5年度より微減している。今後は令和7年3月に湯前町こども計画を策定したため、各種事業の継続及び新規事業に取り組み、子育て世帯の負担軽減に努めたい。								
備考	19歳未満の子どもがいる世帯数を積算根拠の指標としている								
委員からのご意見	KPIで「子育て世帯数」として設定している意味についてお尋ねしたい。 回答：本来であれば、合計特殊出生率をKPIとするところだが、本町の出産できる女性が年代別によって差が大きく、データとして整合性が取れないため、子育て世帯数としている。 19歳以下だと19歳を含むが、子どもとしてみなされているのか。 回答：19歳未満の誤り。正しくは18歳以下（高校3年生まで）の子どもがいる世帯を積算根拠の指標としている。								

施策2 湯前ならではの特色ある教育の展開（重要業績評価指標）

指標名	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率	担当課
小中一貫教育に対する保護者の満足度	-	73.0%	74.0%	78.7%	79.1%	95.0%	80.0%	119%	教育課
検証および今後の方針	芸術鑑賞・文化祭・合唱祭等の小・中合同の行事も増え交流事業が充実してきたことにより保護者の満足度も高くなってきた。今後もこれらの取組の周知に努めていきたい。								
備考	小学校・中学校での保護者アンケートに基づく 目標値は当初75%であったが、R5年度に80%に上方修正								
地域学校協働活動参加人数	-	195人	709人	902人	490人	458人	1,000人	46%	教育課
検証および今後の方針	職場体験は、地域の方の協力により更に充実した活動となり、社会貢献として町民体育祭の生徒の参加や協力により地域の方にも喜ばれる活動となった。実績値は下がったが内容は充実したものになり令和7年度は活動した状況を広報誌に掲載し地域と学校が協働する活動の普及に努め地域の協力体制の構築を図りたい。								
備考	目標値は当初600人であったが、R5年度に1,000人に上方修正（総合計画（後期）ではR9目標値を900人設定）								
委員からのご意見	目標値の整合性をしっかりと、目指すべき指標を明確にさせること。								

【評価】

基本目標3について

今後の方針に沿って事業を進め、目標達成に向けて取り組んでもらいたい。